

例会報告

第2518回例会報告議事録

ロータリーソング「手に手つないで」

日時 30年3月27日(火曜日)

ビジター：なし

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

S.A.A.：依田会員

時間 12：15点鐘

ゲスト：京葉銀行

成長戦略推進部

コンサルティング営業グループ上席参事役

魚路剛司様

会長挨拶

服部会長



先週は業務のために欠席しまして大変失礼いたしました。瀧日さんに会長代行していただき助けていただきました。困った時の瀧日さんというのは卓話だけに限らないということで、本当に感謝申し上げたいと思います。

先々週に合同例会があり、来月4月17日に10分区の懇親ゴルフと合同例会が予定されています。

今月末の地区研修協議会から来年度に向けた活動がスタートします。

先週、瀧日さんがお話されていたしだれ桜ですが、私も気になって日曜に見に行ったら、上の方には赤いつぼみが出ていました。楽しみにしております。今年は桜が大変早いので、4月3日の柏南クラブの観桜例会が観葉例会とならないことを祈っています。

手賀沼の水の館の双眼鏡の利用状況を今日、手賀沼課さんに電話してみましたら毎月8,000円程度のご利用があるとのことでした。思いのほか、利用していただいていますとのことでした。

この日曜日、中央学院高校が甲子園で明德義塾と試合をしました。大変惜しい所で負けてしまいましたが、行かれた方から後ほど詳しく報告をいただける事と思います。

今日はグローバル補助金奨学生の申請が津田塾大学の女子大生の方からありましたので、この後、その取り扱いについて話したいと思いますので、理事の方で残れる方は残っていただければと思います。

ありがとうございました。

親睦委員会報告

倉持副委員長

今日は特にございません。

出席報告

松丸事務局(代理)

17名出席(全員で27名) 出席率62.96%

欠席者が10名。

業務の為：荒井会員、今井会員、上村会員、志賀会員、松本会員、

柳田会員、湯下会員、米田会員、渡邊会員

体調不良の為：福武会員

中央学院高校の甲子園応援について



高島会員より

24日に出発して25日の朝9時からの中央学院と明德義塾の試合を見てきました。

中身のある非常にいい試合でした。各選手の動きがきびきびしていて、非常に気持ちのいい試合でした。結果的には破れてしまい残念でしたが、いい試合だっただけに残念さが少なかったという印象です。

今まで一度も甲子園球場に行った事がないので今回行きました。非常にいい体験をさせていただきました。行ったメンバーも爽やかで長老を立ててくれて、非常に楽しい一泊二日の旅行でした。ありがとうございました。



小池会員より

私は甲子園球場に白陵高校が夏に行った時、1999年に一度行きました。今回19年振りに甲子園に行ってきました。

3階のアルプススタンド、レフト側のスタンドから観戦しました。明德義塾は体格もいいし、非常にプロのようで、球も速いし、やはりあちらの方が上という感じがしました。

いつも4番ピッチャー大谷だったのが、1番大谷でした。8回に4点入れて、5-3になりましたが、次に1点入れられて5-4になり、最終的にはやはり明德の4番はすごく、プロ顔負けで、相手があっばれでした。ありがとうございました。

幹事報告

村越幹事



・中央学院高校の甲子園に高島会員、小池会員、米田会員、村越の4名で行って参りました。大変楽しい経験をさせていただきました。きんつばはお土産です。召し上がってください。

・4月17日(火)は第10分区の合同夜間例会及び親睦ゴルフが行われます。事務局よりファックスが行っていると思いますので、返信の方よろしくお願いたします。

ゴルフの方の取りまとめは小池会員、どうぞよろしくお願いたします。

・柏南RCより観桜例会のご案内受理
日時：4月3日(火)18時点鐘 場所：廣池学園 麗澤キャンパスプラザにて
服部会長と私と事務局の松丸さんが出席予定です。参加されたい方は事務局の方にお声かけください。

・本日、例会終了後にお残りいただける理事の皆様でグローバル補助金奨学生の面接を行いたいと思います。その後、臨時の理事会でその奨学生を推薦するかどうかの決定をしたいと思います。

・地区大会の記念誌が事務局に届いています。興味のある方はご覧になってください。

本日の卓話について

伊東会員



本日、弊行の成長戦略グループの上席参事役の魚路の方から事業承継についてのお話をさせていただきます。弊行では第一人者ですので、参考にさせていただけるのではないかと思います。

魚路は1997年に私が浦安支店に配属された時の直属の上司で、20年以上指導を受けている大先輩です。お客さまとの密なる交渉等、大変勉強になりました。本日は魚路を紹介できることを嬉しく思っています。宜しくお願いたします。

本日の卓話

京葉銀行 成長戦略推進部

「事業承継の勘どころ」

コンサルティング営業グループ上席参事役
魚路剛司様



今日は我孫子ロータリークラブさんの卓話でお話する機会をいただきまして、また日頃、弊行をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

今、事業承継というのは国の方でも非常に懸念している大きな話題ですので、今日はその辺のお話をさせていただこうと思います。

まず自己紹介ですが、銀行に就職して若い頃はずっと営業が中心でした。後半は本部の仕事が多くなり、人事や融資をやらせていただき、現在は成長戦略推進部で法人向けのお客さまのコンサルティングをさせていただいています。

まず、京葉銀行のコンサルティングサービスについてお話します。

企業というのは、創業し、成長期に入り、安定期に入り、ある年数が過ぎると事業を次の世代にどう承継するかというサイクルがあります。一般的に30年周期と言われています。

その中でいろいろな悩みや課題や問題点が出てきますので、そこをうちのグループのいろいろな専門家たちが課題解決のご支援をさせていただいています。うちでは解決できないところは外部機関等とマッチングしながらお客さまの課題解決していこうということをやっています。

(次ページへ続く)

業種別には医療介護、農業関係、海外進出企業様等がいらっしゃいます。

年間140~150社くらいの経営者様とお話する機会がありますが、その7割が事業承継のお悩みです。

事業承継のガイドラインは中小企業庁より出ていますが、10年振りに刷新しました。その理由は、まず経営者の高齢化が進展したことがあります。

今、日本の全事業所の99.7%が中小企業です。総労働人口の約7割が中小企業さんです。その中小企業さんが高齢化することによって、日本の経済がどうなってしまうのか、というのが国としても一番大きな悩みです。

事業承継を円滑化することによって、世代交代を通じ活性化を促進し、次につながる経済を立て直していきたいということです。

私が注目したのは、早期・計画的な取組の促進を60歳を着手の目安とする、と国が年齢まで出したということです。国のなみなみならぬ焦りを感じました。

1999年に中小企業は484万者あったのが、約15年後には100万者減りました。中規模企業者はそれほど減っていないのですが、小規模企業者(個人事業主、製造業だと従業員が20名以下、小売り卸しサービスだと従業員が5名以下)が減っています。ショッキングな数字かと思います。

中小企業さんの経営者さんの年齢が20年間で47歳から66歳に移動しました。平均引退年齢は70歳前後です。健康寿命の平均年齢が70歳ちょっとだそうです。その健康寿命と引退年齢はリンクしているのではないかと思います。

誰に事業承継するかというと、一番多いのはお子さま、親族内というのが昔は8割、9割でしたが、今は親族内承継は3割、4割に減っています。

最近特に伸びているのは第三者承継で、他の会社や取引先さんから社長さんを迎え入れるとか、M&Aです。昔はM&Aは買収されるというイメージでしたが、今は全く違って、自分の経営理念と合う企業さんが見つければ、それが一番いいという形になっています。毎年100者さんくらい事業承継のご相談を受けていますが、M&Aは増えています。

3年くらい前に事業承継のセミナーをやったのですが、当時50代の経営者さんが息子に承継するんだとおっしゃっていたのですが、息子さんに確認したかどうかを聞いたら、2、3日後にすぐ電話があり、息子さんに承継するのはやだと言われたとのことでした。

その会社は従業員30、40人の年商10億くらいの良い会社で、息子さんはその会社で働いているのですが、今いる社員さんは親父さんの社員さんで、創業から親父さんに一生懸命ついてきた社員さんたちなので、自分にはまとめることはできない、ということでした。

息子さんが無理であれば、社内で自分の意志を継いでくれるような社員さんを見つけるか、それが無理であればM&Aという形で、他の会社から迎え入れましょうと3年間動いたのですが、最終的に今はM&Aです。いい会社なので、買い手が相当来ています。

一般的に製造業などは、職場と住居が近く、親父の背中をみて、工員さんと寝食共にしているお子さんは引き継ぐパターンが多いです。

機械メーカーで創業以来、頑張ってきた社長さんの話です。脳梗塞で倒れ、2週間入院して、承継について真剣に考えたそうです。その会社は息子さんが専務で入っているのですが、社長さんは息子に社長は無理だと思っていらっしゃいました。家族会議をされて、息子に話をしたら、「お父さん、僕、頑張ります」と言ってくれたそうです。うちの銀行の宣伝になってしまいましたが、後継者塾というのをやっていて、その息子さんも一期生で来ていただいて、今、立派な社長さんになっています。

事業承継の準備ですが、70代になっても準備が終っている企業は半数以下です。

国の方で事業承継の地域プラットフォーム、地域ネットワークを昨年からはじめています。中小企業さんのかかりつけ医として商工会等があり、経営者さんに対して気づきを与える為に国の方で問診票(アンケート)を作りました。

その問診票のQ1として「会社の10年後の夢について語り合える後継者候補がいますか」という質問があります。

総合医として京葉銀行、中小企業診断士協会等が活躍しています。

事業承継プロセスについてですが、現状把握して、課題、問題点の抽出、その対策を練って、実行し、定期的な見直しをします。

そもそも事業承継とは何なのかということですが、経営の承継、財産の継承を次世代の後継者に円満に引き継ぐことです。

まず後継者を誰にするか、いつどのようにするかということがポイントになります。

財産の承継は自社株や事業用資産等、相続対策の現状把握が必要になります。

事業承継の3つの柱は、誰に、いつ、どのようにするか、です。まずは親族内、次に親族外(役員・従業員)、そして親族外(第三者・M&A)です。その3つにはそれぞれメリット、デメリットがあります。

どのように事業承継をやればよいか、国の方で計画書を推奨しています。ネットでエクセルの白紙のものが出てきます。計画書は、うちの方でアドバイスや、一緒に作ることもできますので、ご相談ください。

後継者の承継には、後継者を指名してから5~10年かかります。社内教育、社外教育を計画してやっていきます。

税制がこの4月1日から大幅に改正になる予定で、自社株等も実質0円で相続等できる予定ですが、事業承継計画書を作成し、承認してもらわないといけません。

経営資源の承継についてです。決算書には見えない会社の強み、というのが知的資産です。それは会社の競争力、収益の源泉になります。これはなかなか見えない所なので時間をかけてやりましょうということです。知的資産経営報告書は、知的資産経営研究会というのがありますので、ご興味のある方はそちらの方で一緒に作る事もできます。

自社株式の承継は、経営者の持ち株比率は3分の2以上あれば定款変更等できますので、そこがポイントになります。

相続対策ですが、事業承継の準備として検討していただければと思います。

相続対策は、まずは円満な遺産分割、次に納税資金対策、相続税対策の順番が必要かと思えます。

自社株承継についてはサラリーマンとは違う相続対策が必要になってきます。財産の移転や、お子さんが1人か複数人かで、贈与がいいか、譲渡がいいか、遺言がいいか等選択があります。

非常に駆け足になってしまいましたが、お話をさせていただきました。何かありましたら、支店を通してご相談していただければと思います。ご清聴ありがとうございました。

閉会の言葉

服部会長

魚路さん、お忙しいところ卓話にお越しいただき、事業承継のお話をありがとうございました。



魚路様 ありがとうございました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
服部会長	魚路様 卓話ありがとうございました。	1,000円
村越幹事	夏も甲子園に行くぞ!	1,000円
伊東会員	ご清聴ありがとうございました。	1,000円
佐藤会員	中央学院高校、惜敗残念!!	1,000円
藤本会員	魚路さん ありがとうございました。	1,000円
当日計		5,000円
今期累計		305,087円

今週の表紙「湖北小学校」千葉県我孫子市中里95番地

明治7年(1874年)開校の130年以上の歴史がある小学校です。昭和49年に創立100周年を迎えました。湖北小学校は西原遺跡がある場所でもあります。1985~1998年(昭和60~平成10年)までに行われた発掘調査では、古墳時代から奈良・平安時代の集落跡が中心に確認され、土師器や須恵器等の土器が多く出土しました。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。